

事業所名	放課後等デイサービス「マーム」	支援プログラム	作成日	令和7年	1月	7日
法人(事業所)理念	障がいをもつ人達に対して、住み慣れた地域で人と人とのふれあいを通して、自分らしさを追求し、生きがいの持てる生活が送れるように支援する事業を行い、「自己決定」と「自己選択」が当たり前ででき、社会を構成する一員として社会・経済・文化その他あらゆる分野への活動推進に寄与します。					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所は、利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、当該利用者の障害の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。 ・事業所はその提供する指定通所支援の質の評価を行い、常にその改善を図るものとします。 ・児童福祉法及び「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準」に定める内容のほか関係法令等を遵守し事業を実施するものとします。 ・デイサービスの提供に当たっては、地域及び家庭との結びつきを重視し、通所給付決定保護者の所在する市町村、及び児童福祉法に基づく障害児通所支援事業を行なう者、児童福祉施設その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めます。 					
営業時間	平日	14時	00分から	17時	30分まで	送迎実施の有無 あり なし ※応相談
	学校 休校日	10時	00分から	16時	00分まで	
支援内容						
本人支援	健康・生活	基本的生活習慣(食生活、睡眠、体調管理、身だしなみ等)や日常生活管理(公共交通機関の利用、金銭管理、余暇活動等)への理解を深めるために、日々の活動の中で適宜声をかけ意識づけを図り、講座やロールプレイで学ぶ機会を設けたり、外出活動の際に実践できるようにします。社会的自立に向けて、各種掃除の仕方や食器洗い等のロールプレイを行い、社会的スキルの獲得を目指します。				
	運動・感覚	理学療法士を配置し身体的機能の向上を支援します。訓練教材を用いた各種作業体験として、軽作業での組み立て・分解等や事務作業での「切る」「折る」「貼る」といった指先のトレーニングを行い、視覚、触覚、聴覚といった感覚の発達を促します。作業体験時にデスクワークとともに立ち作業も導入し、業務に集中する力を養い、足腰の負担を軽減することを学んでいただきます。また、公園での集団あそびや室内でのエクササイズ等を行い、体力づくりや体の柔軟性の向上を図ります。				
	認知・行動	訓練教材を用いた各種作業体験として、カード仕分け作業では情報の取捨選択する力を伸ばしたり、パソコン作業では、情報処理能力の向上を図ります。活動時の5分前行動の励行や作業記録をとることにより時間への認知形成を促し、見通す力を養います。また、アンガーマネジメントや自己・他者の感情理解をSST等で学び、相手の気持ちを考え、暴言や暴力などの不適切な行動に対してその行動の背景や原因に着目し、望ましい行動と一緒に考え、適切な認知形成を支援します。				
	言語 コミュニケーション	「報告」「連絡」「相談」等就労場面で求められるコミュニケーションを様々な活動場面において設定し習慣化を図ります。面接練習において、座学にて面接時の語彙の理解を深め、模擬面接(個別・グループ)を通して適切な受け答えや振舞いを学びます。はじめの会・帰りの会において、司会や声かけ当番を交代で行ったり、活動報告をプレゼンテーションする等を行い、講座では自己紹介やグループワーク後の発表など、様々な場面で言語表出する機会を設けます。LINE等のSNSにおける適切な使い方や起こりやすいトラブル等についての対処法も講座の中で学びます。				
	人間関係 社会性	円滑な人間関係を築く上で必要となる社会的マナーについて、講座を通して理解を深め、日々の活動の中で実践できるように声かけ等をして促します。体験学習時には、公共交通機関利用時のマナーや集団行動で相手も自分も大切にしたい発言や振舞いができるように、適宜伝えていきます。日常的にはおやつ提供時に模擬購入の場を設けたり、施設外での買い物や外食体験の際には、自発的な行動を促し、自分で選択することを大切に支援を行います。				
家族支援	日々の活動やご家庭での様子を共有出来るよう、アプリを用いて情報共有を行います。また、医療・福祉・生活に関わる個々の相談にきめ細かく対応し、保護者同士の情報交換をはじめ各種制度等の情報提供を行います。	移行支援	高校卒業後の進路先へスムーズに移行していけるように、保護者、その他関係機関と連携・情報共有しながら支援を行います。			
地域支援・地域連携	必要に応じて相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との情報共有や連携を図ります。また、法人内の就労移行支援事業所とも連携を図り、本人、ご家族の将来に対する不安を和らげ、必要な情報を提供します。	職員の質の向上	常勤、非常勤ともに事業所内研修、外部研修に参加しています。 事業所内：虐待防止研修 外部研修：サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者研修			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜プログラム：金城学院大学講師による美術指導のもと、季節に合わせた作品作りを通して感性を磨きます。 ・体験学習：春休み、夏休み中に施設外に出かけて、買い物体験や社会見学を行います。 ・夏休み、冬休み、春休み：クラフト作成、体力づくり、ボードゲーム等のレクリエーションを楽しみます。 ・漢字検定：年3回法人内就労移行支援事業所と連携し事業所内で受験します。(希望者のみ) ・同窓会：高等部卒業後デイサービスの利用を終了された方々の拠り所として年数回交流する機会を設けます。 					

健康・
生活

発達支援
の
5領域

言語・
コミュニケーション

運動・
感覚

認知・
行動

人間関係・
社会性





健康・生活

- ・ **基本的習慣**：(睡眠、体調管理、身だしなみ等)
- ・ **日常生活管理**：(公共交通機関の利用、金銭管理、余暇活動等)
- ・ **自立に向けて社会スキルを獲得**：(講座、清掃ロールプレイ(各種掃除の仕方))




運動・感覚

- 
- 
- ・ **指先トレーニング**：(軽作業(組み立て・分解等)や事務作業(「折る・貼る・切る」))
 - ・ **集中力を養う、正しい姿勢を身につける**：(デスクワーク・立ち作業)
 - ・ **理学療法を通じ、体力づくりや体の柔軟性の向上を図る**
：(公園での集団あそび、室内でのエクササイズ等)



認知・行動

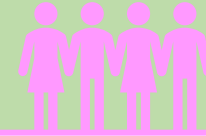
- 
- ・ **取捨選択する力**：(カード仕分け作業)、**情報処理能力**：(パソコン作業)
 - ・ **時間への認知形成、見通す力**：(5分前行動の励行や作業記録をとる)
 - ・ **適切な認知形成**：(SST(ソーシャルスキルトレーニング))



言語・
コミュニケーション

・ **コミュニケーションの練習**:(「報告・連絡・相談」ロールプレイ、グループワーク)

・ **適切な受け答えや適切な振舞いを学ぶ**:(模擬面接(個別・グループ))




人間関係・
社会性

・ **公共のマナーと社会的マナーについて理解を深める**:(講座、体験学習)

・ **集団行動を通して相手や自分を大切にした発言や振舞いを身に付ける**
・ **施設外での買い物体験や外食体験で、自ら選択する力を身に付ける**




主な行事



土曜日プログラム : 金城学院大学講師の美術指導のもと、
作品作りを通して感性を磨きます。



体験学習 : 春休み、夏休み中に施設外に出かけて、
買い物体験や社会見学を行います。



夏休み、冬休み、春休み : クラフト作成、体力づくり、ボードゲーム等の
レクリエーションを楽しみます。
施設内にて、おやつ作り(ホットケーキ、ポップ
コーン等)他にも取り組みたいと思います。



漢字能力検定 : 年3回事業所内で受験します。(希望者のみ)
パソコン資格取得サポート : MOS、PC検定、基本情報技術等(能力に合わせて)

